

『^{こうくん}香君』上下 上橋菜穂子

「草木や虫、鳥や獣、様々な生きものたちが、香りで交わしている無数のやりとりをいつも風の中に感じている、そんな少女の物語です」。あの『**精霊の守り人**』『**獣の奏者**』『**鹿の王**』の著者、7年ぶりの新作長編小説！ 香りで万象を知る＜香君＞という女性の物語。「他の人が感じることのない香りのやりとりを知ることが出来る少女がいたら、彼女の世界は、とても豊かで、しかし、とても孤独だろう。その思いが胸に広がったとき、この物語は始まったのでした」。奇跡の稲、オアレ稲。普通の稲は作れない痩せた寒冷地でも年に数回収穫できて、従来作っていた穀類の倍以上、4倍もの米を収穫できる。冷害にも干害にも強く、虫もつかず、雑草も生えない。地上から飢えを一掃した。はるか昔、神郷からもたらされたというそれと引き換えに、ウマール人は広大な帝国をつくりあげてきた。だが、そんなオアレ稲を頑なに拒んだ氏族長もいて、アイシャの祖父がそうだった。彼は玉座を追われた。辺境で生きるアイシャは、人並み外れた嗅覚を持ち、物心ついたころから生きものが発する香りを言葉のように意味を持つものとして感じてきた。＜香りの声＞を聞くことができるのだ。帝国によって殺されそうになったアイシャは、マシュウによって命を救われる。正体を隠す＜香君＞と暮らしたアイシャは、香君が自分ほど香りがわからないことに気づく。さらには、マシュウによって、オアレ稲に頼りきった帝国が、虫害による未曾有の食糧危機に陥らんとしていることを知らされるのだった…。「“そんな事態、まず起きないだろう”と、多くの人が思うようなことを、“いずれ起こる可能性がある”と考えると、こつこつと研究してきた人たちが世界中にいて、その努力の蓄積が、いま、私たちを救う力になっている」。

『**マリアビートル**』 伊坂幸太郎

なんと、あの伊坂幸太郎の小説があのだブレッド・ピット主演でハリウッド映画化！ いやいや、冗談ではありません！ これが本当の話なんです！ 選ばれたのは、新幹線のなかで殺し屋たちがバトルを繰り広げるあの大傑作『**マリアビートル**』！ タイトルは『**ブレット・トレイン**』に！ 『**グラスホッパー**』『**AX**』とともに読んでほしい、殺し屋三部作の一冊！ また紹介しますね。

『流浪の月』 凧良ゆう

2020年の本屋大賞受賞作が、広瀬すず、松坂桃李ほか豪華キャストで映画化！少女誘拐事件の被害者と加害者。かつて9歳と19歳だった二人の関係は「事件」などではなかった。15年経って二人が再会したら…という物語。浮世離れした母親と彼女をやさしく受け入れる父親。ほかのどんな普通の家庭とも違っていただけで幸せだった更紗の家族は、病気で父が亡くなり、母親が恋人と失踪して失われてしまった。更紗は叔母の家に預けられ、常識のある子どものふりをしていただけで、息の詰まる家に帰りたくなくて、公園で本を読んで過ごすようになった。向かいのベンチにはロリコンと噂される若い男の人がいた。ある日、雨が降ってきて傘がなくてそれでも家に帰りたくなくて泣きたくなくなっていると、彼が「帰らないの？」と声をかけてきた。彼はすごく綺麗な顔をしていて、お父さんに少し似ていた。「帰りたくないの」と答えると「うちにくる？」と訊く。更紗は彼について行くことに決め、二人の同居生活が始まった。当然ながらそれは事件となって…。「わたしは文が好きだ。それは恋とか愛とか、そういう名前をつけられる場所にはない。どうしてもなにかに喩えるならば、聖域、という言葉が一番近い」。

『ハケンアニメ！』 辻村深月

吉岡里帆主演で映画化！表紙イラストはCLAMP！タイトルは「派遣アニメ」ではなく「覇権アニメ」。TVアニメの1クールごとのベストワン、覇権を取るのはどのアニメかを競うお仕事バトル小説です。アニメへの愛に溢れた作品。「恋人がいなくても、現実がつらくても、心の中に大事に思ってるものがあれば、それがアニメでも、アイドルでも、溺れそうなときにしがみつけるものをもつ人は幸せなはずだ」。アニメのプロデューサーの香屋子がこの業界に入ったのは、アニメが大好きだったからだ。「なんだこれ！」「かっこいい！」という気持ちがアニメとの出会いで何度も起きたからだが、仕事になってしまうと純粋なその気持ちは消え失せてしまったように感じていた。ところが、就職して5年目、27歳で『光のヨスガ』という作品に出会って、十代の頃の感動を思いだした。アニメに恋い焦がれるように憧れること。『ヨスガ』は弱冠24歳の王子千晴の初監督作品だった。香屋子が業界にいる理由は「いつか王子と仕事をするため」に変わった。それから9年。香屋子は王子と9年ぶりの新作を作ることになる。しかし、王子は3話分だけの脚本を上げて、失踪してしまう…。アニメとは、いいものを作りたいという思い。スピンオフ最新作『レジェンドアニメ！』も！

『^{しふく}隠伏三十年』 マキタスポーツ

「山梨から上京、何者かになろうとあえぐ青春が私と重なる。人気者がよくここまで自分をさらけ出せたものだ」(林真理子)。あのマキタスポーツさんが日川高校出身だということはご存じでしょうか？ ユニークな芸名の由来となった実家のスポーツ用品店は、スーパーまるいちの向かいに数年前まではあったのですよ！ 最近の「週刊朝日」でこれまた日川出身の偉大なる先輩・林真理子サマと対談しており、あの伝統の新入生オリエンテーション(!)の話題などで盛りあがっておりました w この本は多才な彼の初の小説作品ですが、実は芸人が小説に手を染めるずっと前から文芸誌「文學界」で連載しており、又吉が『**火花**』で芥川賞を受賞したときはムカついたそうです w 「職業＝マキタスポーツ」という、うらやむべきポジションを手に入れるまでの紆余曲折が書かれた自伝的小説。山梨でチャホヤされて「世の中チョロいな」「山梨はオレには狭すぎる」と勘違いして東京に出て打ちのめされる、典型的な山梨県民の物語。東京の大学には入ったものの引きこもりになるが、夜の街で息を吹き返してなんとなく卒業。何者にもなれずぶらぶらしていたら、親に説得され山梨に進出するモスバーガーの副店長に。オープン前の本社の研修で「モスで働く気なんてなかった」と正直に言ってしまい、研修期間が終わってもただひとり修了証がもらえない。大盛況のお店の過酷な労働環境でがんばるが、「エッセイストになる！」と親にタンカを切って再び東京へ…。「誰にも『俺』を渡したくなかった。俺の目に輝きがないのは、人を信用せず、自力で困難に向かい合っている人間の目だからだ。この孤独を、そんじょそこらの人間がわかるだろうか」。イタイぞ！

『ミシンと金魚』 永井みみ

すばる文学賞受賞の本デビュー作が、各紙誌で(特に女性から)大絶賛！ 認知症を患った高齢女性カケイさんの一人称小説。冒頭から奔流のように饒舌にノンストップで語られていく言葉に、カケイさんの感じている意識の流れが描写されているのかと思いきや、これほとんど実際に口に出されていたのですね。「ちょっとしづかにしまししょうか」。デイサービスに通うカケイさんは、介護をしてくれるすべての女性をひとくくりにして「みっちゃん」と呼んでいる。たまに息子の嫁が家に来るけれど、息子が亡くなってしまったことはすぐに忘れてしまう。彼女の一人語りで、さらりと壮絶な人生が語られていく。「あたしには、しあわせな時期が、たしかに、あった」。衝撃のラスト。こんな場面が書かれるなんて！「花はきれいで、今日は、死ぬ日だ」。

☆『なんでも見つかる夜に、こころだけが見つからない』
とうはたかいと
東畑開人

『居るのはつらいよ』で大佛次郎論壇賞と紀伊國屋じんぶん大賞 2020 を受賞し、『心はどこへ消えた?』も好評だった臨床心理士の最新刊は、「読むカウンセリング」。読む人が自分の心をじっくりと考えるための本。「あなた」と同伴する著者の小舟が夜の海を航海していく設定になっています。現代に生きる人々は、ひとり頼りない小舟に乗って向かう方向すらわからず海を漂っているのです。「ひとりぼっち」の苦しみを抱えながら。安易に「処方箋」を与える自己啓発本ではなく、心に引く「補助線」について知ることによって「生きやすく」してくれる良書。いっさい難しい言葉は使われていません。現実を理解しようとして補助線は引かれるのですが、それは現実の複雑さを切り捨ててシンプルにするためではないと著者は語ります。複雑な現実ケース・バイ・ケースで折り合うためのやり方を見つけるために、補助線は引かれるべきだと。長くなりますが、とても大切なことを言っているので、引用します。「悲しむことができたとき、僕らの心は少しだけ、広く、深くなる。心に複雑なものを置いておけるだけのスペースができる。悲しむための時間がなければ、僕らの心はシンプルで、狭く、浅いままにとどまってしまう。目の前の複雑な現実と触れ合えないままに、白と黒しか存在しない自分だけの世界に閉じこもるならば、世界は貧しくなってしまう。悲しみには豊かさがある。そこには世界の複雑さと、他者の複雑さと、自分の複雑さのための余白がある。そういうものを実感できたとき、僕らはネガティブなことが起こり続ける人生というものを、それでも生きるに足るものだと思う。それを世間では『大人になる』というのでしょうか」。はてしなく続くかのように思えた夜の航海のラスト、臨床を積み重ねてようやく到達した「現実は生きるに足るものである」というポジティブな認識に基づいて、「幸福とは何か」という難しい問いに対して著者は回答を与えています。「複雑な現実をできるだけ複雑に生きること」。さらには、ラスボスであるスフィンクスが投げかける究極の問い、「幸福ですか?」「あなた、幸せですか?」に対してまで答えを示唆してくれます。夜の航海を終え、本を閉じたとき、あなたは癒やされているはずです。

— GWにはせーやさんは、三日月の小舟に揺られながら、天の河の水音を BGM に、
夢を喰べるバクのおなかを枕がわりにして、星の灯りで本を読んでいた♪
美人さんのねこといっしょにね。しあわせ。では、図書館で。

